

前回の地域会議におけるご意見

令和7年7月17日
北信地域振興局林務課

1 前回の会議開催日 令和7年1月28日（火）

2 いただいたご意見

(1) 地域または全県の課題として検討を要する事項

①人工造林における少花粉スギ苗の管内の供給見込みについて。

- ・必要量確保には2～3年要する見込みである。
- ・局は地域の必要とする苗木について、県と調整しながら確保に努めたい。

②木育活動について、森林税以外の支援（補助）も含め、分かり易く案内してほしい。

- ・関係する皆さんに細やかな情報提供に努めるとともに、具体的に支援している市町村にもつないでまいる。

③地域の環境イベントをより良くするため、事前打ち合わせをもっと密にしてほしい。

- ・イベントの進め方に関するご意見は、主催団体へお伝えさせていただいた。

(2) 県民会議事務局へ見解を求められている事項

①森林税、譲与税の用語が難しく、事業の使い分けや取組が県民に伝わりにくい。

県民がより見たくなる、知りたくなる情報発信をしてほしい。

- ・県民（森林税を活用した制度の利用者）視点でのわかりやすい発信や広報が必要と認識。
- ・活用できる支援策が分かりやすいよう逆引きの制度案内や幅広いチャンネルでの情報発信に努めてまいる。
- ・地域広報誌や新聞への掲載、街中の大型ビジョンや SNS による広報など様々な媒体・方法で幅広い世代の方に森林税についての認知いただけるよう努めてきたところだが、より関心を持ってもらえるよう内容を見直すとともに、実際に活用いただいている自治体や団体等の方の協力もいただきながら積極的な広報に努めてまいる。

②木材が CO2 固定に寄与していることを県民に伝えるため、県の CO2 固定量認証事業は予算を拡充し、県民に伝わる方法を検討してほしい。

- ・イベントや事業者説明会での広報、HP 等による普及啓発に努めてきたところだが、今後は SNS 等のツール活用も検討しながら、制度がより広く県民に伝わる有効的な広報を検討してまいる。

(3) その他、構成員から挙げられた意見等

- ・開かれた里山事業の整備だけでなく、奥山の整備も必要。
- ・学校のカリキュラムがどんどん大変になる傾向なので、木育などを進めるためには前年度から関係者としてしっかり検討する必要がある。
- ・森林・林業の状況を幅広く知って貰うための情報発信が必要。

3 その他特筆事項

- ・近年、所有山林を個人で管理しきれないという声が多い。
森林税では身近な里山整備が進められており、住宅裏の森林整備や獣害対策など、地域の高齢化に伴う労力不足を補う形で里山整備が進むのは有難い。
- ・下高井農林高校では 3 年生が課題設定し、緩衝帯整備などクマ対策に協力した学校だけで地域へ対応するには限界があるので、森林税が活用されて地域課題の解決につながると良い。